2026年度　第2四半期
決算説明会

2026年11月9日

ブラザー工業株式会社

執行役員財務担当　中島　聡

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

業績ハイライト

brother at your side

2026年度　第2四半期（7月-9月）実績

売上収益・各段階利益ともに
第2四半期として過去最高を更新

売上収益　**2,488億円/+14.3%**（前年同期比）

- IP事業にMUTOHが加わったことや、マシナリー事業の産業機器における販売増加をはじめ、各事業が堅調に推移
- 為替のプラス影響も加わり、増収

事業セグメント利益　**266億円/+22.6 %**（前年同期比）

- 部材コストなどが増加したものの、主に価格対応の効果や為替のプラス影響により、増益

営業利益　**273億円/+21.2 %**（前年同期比）

当期利益*　**216億円/+30.5 %**（前年同期比）

*親会社の所有者に帰属する当期利益

2026年度　通期業績予想

売上収益・各段階利益ともに上方修正

- 第2四半期の好調な業績を反映するとともに、マシナリー事業の産業機器などの下期の見通しを引き上げ
- 前回予想で織り込んでいたリスクは限定的となる見通し

株主還元

中間期末および期末の配当を増配

1株当たり配当

- 中間期末：　**60**円　（前年比10円増配）
- 期末（予定）：　**60**円　（前年比10円増配）
- 年間（予定）：　**120**円　（前年比20円増配）

25年度第3四半期より、N&C（ネットワーク&コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、親会社の所有者に帰属する当期利益は継続事業と非継続事業を合算した金額です。前年同期実績についても、同様の条件に組み替えて比較しています。

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　第2四半期決算

売上収益・各段階利益ともに第2四半期として過去最高を更新しました。

売上収益

前年同期比 14.3%増の　**2,488**億円　となりました。
IP事業にMUTOHが加わったほか、
マシナリー事業の産業機器における販売増加をはじめ、各事業が堅調に推移したことに、
為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

事業セグメント利益

前年同期比 22.6%増の　**266**億円　となりました。
部材コストなどが増加したものの、主にP&S事業における価格対応の効果に
為替のプラス影響も加わり、増益となりました。

営業利益

前年同期比 21.2%増の　**273**億円　となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

前年同期比 30.5%増の　**216**億円　となりました。

2026年度　通期業績予想

売上収益・各段階利益ともに上方修正しました。
第2四半期の好調な業績や、マシナリー事業の産業機器などの下期見通しの引き上げを反映するとともに、
前回予想で想定していたリスクの軽減を織り込んでいます。

株主還元

中期戦略「CS B2027」における株主還元方針に基づき、配当水準を引き上げます。
2026年度の中間期末および期末の配当をそれぞれ前年比10円増配となる **60** 円（前回予想50円）とし、
1株当たり年間配当は前年比20円増配となる **120** 円（前回予想100円）とする予定です。

2026年度　第2四半期（7月-9月）業績

25年度第3四半期より、N&C（ネットワーク＆コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、親会社の所有者に帰属する当期利益は継続事業と非継続事業を合算した金額です。これ以降のスライドでは前年同期実績についても、同様の条件に組み替えて比較しています。

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2025年度第3四半期より、N&C（ネットワーク＆コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。
これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、
親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業と非継続事業を合算した金額です。
以降のスライドでは、前年同期実績についても、同様の条件に組み替えて比較しています。

2026年度第2四半期　連結業績概要

brother at your side

売上収益・各段階利益ともに第2四半期として過去最高を更新

（億円）

	25Q2 組替後	26Q2	増減 （）は為替影響除く	増減率 （）は為替影響除く
売上収益	2,177	**2,488**	311 (146)	14.3% (6.7%)
事業セグメント利益	217	**266**	49 (▲3)	22.6% (▲1.2%)
事業セグメント利益率	10.0%	**10.7%**		
その他の収益・費用	8	**7**	▲1	-
営業利益	225	**273**	48	21.2%
営業利益率	10.3%	**11.0%**		
税引前利益	233	**287**	54	23.3%
継続事業からの当期利益	164	**216**	52	31.7%
非継続事業からの当期利益	2	**0**	▲2	▲100.0%
親会社の所有者に帰属する**当期利益**	165	**216**	50	30.5%
USD	147.50	**160.12**	12.62	-
EUR	171.59	**183.58**	11.99	-

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　第2四半期の実績です。

売上収益・各段階利益ともに第2四半期として過去最高を更新しました。

売上収益は、前年同期比 311億円増の　**2,488** 億円となりました。

事業セグメント利益は、 49億円増の　**266** 億円となりました。

営業利益は、48億円増の　**273** 億円となりました。

継続事業と非継続事業からの当期利益を合算した親会社の所有者に帰属する当期利益は、
50億円増の　**216** 億円　となりました。

2026年度第2四半期　事業セグメント別実績

（億円）

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	25Q2 組替後	26Q2	増減	25Q2 組替後	26Q2	増減	25Q2 組替後	26Q2	増減
P&S（プリンティング＆ソリューションズ）	1,385	1,515	130	178	184	6	169	185	17
IP（インダストリアル・プリンティング）	343	435	92	4	23	20	▲1	29	30
マシナリー	203	275	71	18	36	19	17	36	19
ニッセイ	55	59	4	4	6	1	4	6	2
P&H（パーソナル＆ホーム）	140	169	29	14	20	6	13	20	7
その他	51	36	▲15	0	▲2	▲2	24	▲3	▲27
合計	**2,177**	**2,488**	**311**	**217**	**266**	**49**	**225**	**273**	**48**

※2025年度第2四半期の「その他」には、株式会社スタンダードの収益を含みます
※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

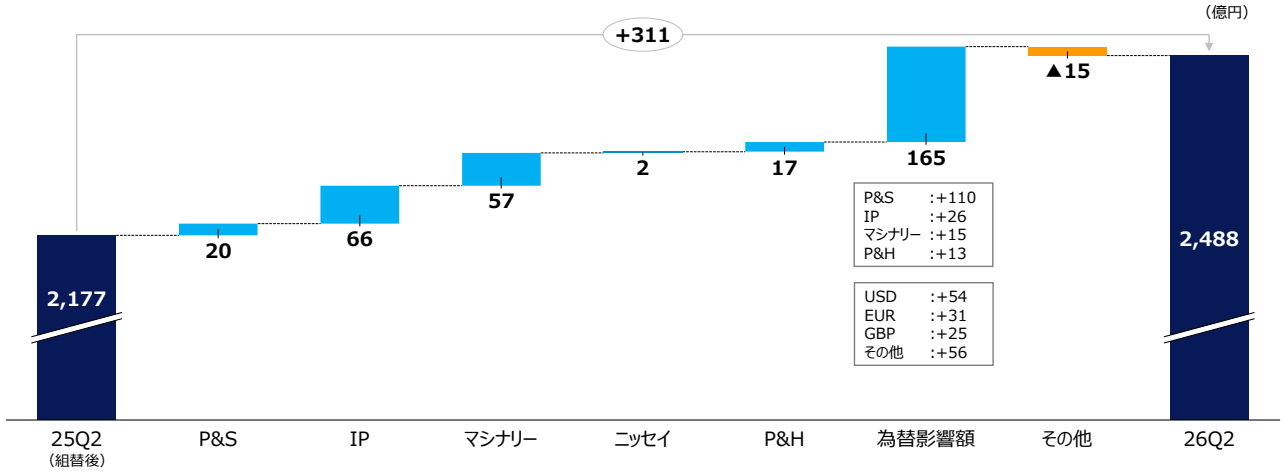
・固定資産の売却益：＋23億円

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメントごとの業績一覧です。

2026年度第2四半期　売上収益の増減要因

IP事業にMUTOHが加わったことや、マシナリー事業の産業機器における販売増加など、各事業が堅調に推移。
為替のプラス影響も加わり、増収となる



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　第2四半期の売上収益の増減要因です。

・P&S（プリンティング＆ソリューションズ）
主に通信・プリンティング機器における価格対応の効果により、増収となりました。

・IP（インダストリアル・プリンティング）
ドミノで本体・消耗品の販売が堅調に推移したことに加え、
産業用プリンターでMUTOHを連結子会社化したことにより、増収となりました。

・マシナリー
産業機器の販売が伸長したことにより、増収となりました。

・ニッセイ
価格対応の効果も含め減速機・歯車ともに販売が堅調に推移し、増収となりました。

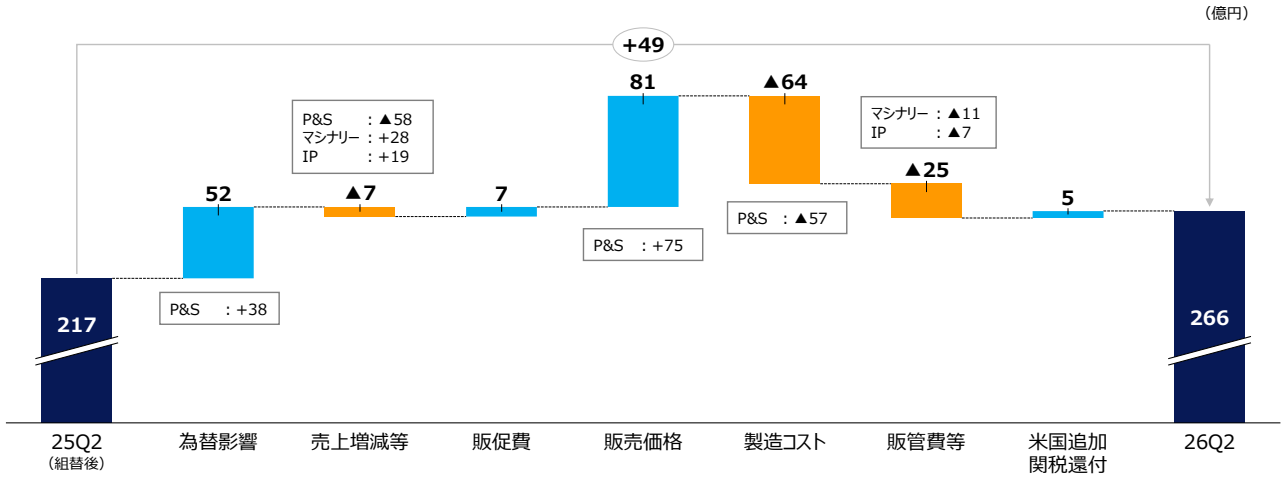
・P&H（パーソナル＆ホーム）
米州を中心に各地域で販売が堅調に推移し、増収となりました。

・その他
主にカラオケ店舗事業等を運営するスタンダードの売上がなくなったことにより、減収となりました。

これらに、為替のプラス影響 165 億円が加わり、
全社では 311 億円増となる　**2,488**億円　となりました。

2026年度第2四半期　事業セグメント利益の増減要因

部材価格高騰などの影響を受けたものの、主に価格対応の効果や為替のプラス影響により、増益となる



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメント利益の増減要因です。主な要素についてコメントします。

・為替影響
主にP&S事業において、為替のプラス影響がありました。

・売上増減等
マシナリー事業の産業機器や、IP事業のドミノにおける販売増の効果がありました。
一方で、P&S事業の消耗品について、欧州における値上げ前の駆け込み需要の反動減の影響がありました。

・販売価格
P&S事業において、主に消耗品の価格対応の効果がありました。

・製造コスト
主にP&S事業において、部材コストが増加しました。

・販管費等
MUTOHを連結子会社化したIP事業や、マシナリー事業を中心に、増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 49 億円増の **266**億円となりました。

2026年度　上期（4月-9月）業績

25年度第3四半期より、N&C（ネットワーク＆コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、親会社の所有者に帰属する当期利益は継続事業と非継続事業を合算した金額です。これ以降のスライドでは前年同期実績についても、同様の条件に組み替えて比較しています。

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2025年度第3四半期より、N&C（ネットワーク＆コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。
これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、
親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業と非継続事業を合算した金額です。
以降のスライドでは、前年同期実績についても、同様の条件に組み替えて比較しています。

2026年度上期　連結業績概要

売上収益・各段階利益ともに、上期として過去最高を更新。事業セグメント利益においては米国追加関税の還付金を、当期利益においてはエクシングの一部株式の売却益を計上し、大幅な増益となる

（億円）

	25年度上期 組替後	26年度上期	増減 （）は為替影響除く	増減率 （）は為替影響除く
売上収益	4,237	**5,022**	785 (385)	18.5% (9.1%)
事業セグメント利益	403	**814**	411 (272)	102.1% (67.4%)
事業セグメント利益率	9.5%	**16.2%**		
その他の収益・費用	▲21	**6**	27	-
営業利益	381	**820**	438	114.9%
営業利益率	9.0%	**16.3%**		
税引前利益	399	**855**	456	114.2%
継続事業からの当期利益	279	**632**	353	126.7%
非継続事業からの当期利益	4	**83**	79	1975.6%
親会社の所有者に帰属する **当期利益**	283	**715**	432	153.0%
USD	146.57	**160.02**	13.45	-
EUR	167.74	**184.39**	16.65	-

・固定資産売却益（Q2）：＋23億円
・為替差損：▲44億円

・米国追加関税の還付：＋146億円
（Q1：141億円、Q2：5億円）

・エクシングの一部株式売却関連（Q1）：＋83億円

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　上期の実績です。
売上収益・各段階利益ともに上期としても過去最高を更新しました。

売上収益は、主にP&SやIP、マシナリー事業の売上増により
前年同期比　785億円増の　**5,022** 億円となりました。

事業セグメント利益は、米国追加関税の還付もあり、　411億円増の　**814** 億円、
営業利益は、438億円増の　**820** 億円、
継続事業と非継続事業からの当期利益を合算した親会社の所有者に帰属する当期利益は、
エクシングの一部株式の売却益も加わり、432億円増の　**715**億円　となりました。

2026年度上期　事業セグメント別実績

（億円）

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	25年度上期（組替後）	26年度上期	増減	25年度上期（組替後）	26年度上期	増減	25年度上期（組替後）	26年度上期	増減
P&S（プリンティング＆ソリューションズ）	2,708	3,112	404	330	618	288	296	618	321
IP（インダストリアル・プリンティング）	666	852	186	13	55	42	5	58	53
マシナリー	384	549	165	31	80	50	31	82	51
ニッセイ	105	122	17	6	14	8	7	15	8
P&H（パーソナル＆ホーム）	273	313	40	23	47	24	19	47	28
その他	101	73	▲27	0	▲2	▲2	24	0	▲23
合計	**4,237**	**5,022**	**785**	**403**	**814**	**411**	**381**	**820**	**438**

※2025年度上期の「その他」には、株式会社スタンダードの収益を含みます
※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

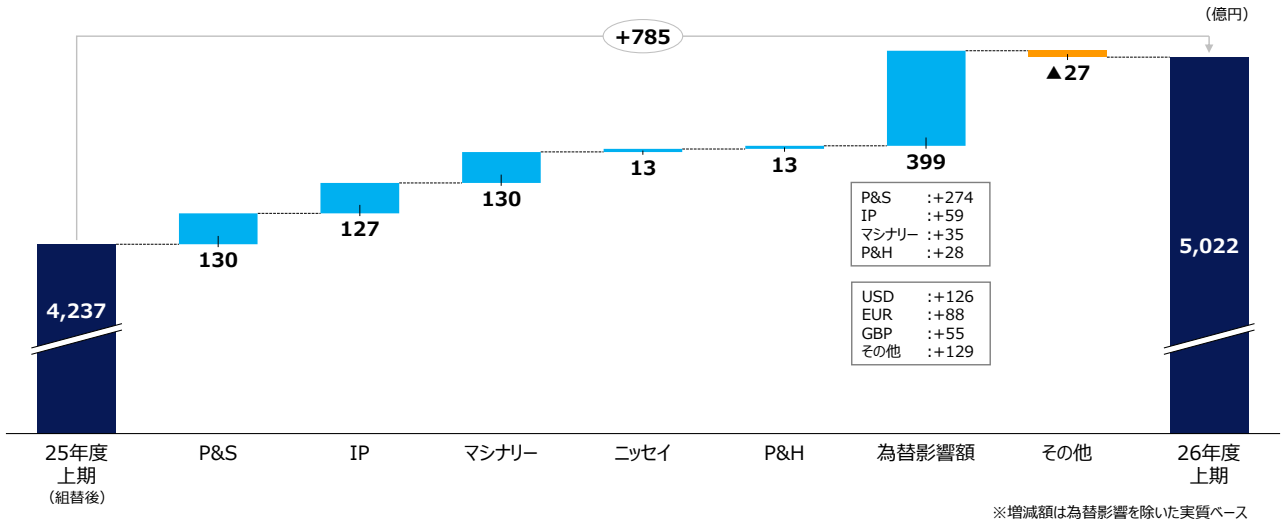
・固定資産の売却益：＋23億円

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメントごとの業績一覧です。

2026年度上期　売上収益の増減要因

P&S事業およびマシナリー事業の産業機器における好調な推移や、IP事業におけるMUTOHの連結子会社化に、為替のプラス影響も加わり、増収となる



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　上期の売上収益の増減要因です。

・P&S（プリンティング＆ソリューションズ）
主に通信・プリンティング機器において、価格対応の効果も含め本体・消耗品の販売が堅調に推移し、増収となりました。

・IP（インダストリアル・プリンティング）
産業用プリンターでMUTOHを連結子会社化したことに加え、ドミノの販売が各地で堅調に推移したことにより、増収となりました。

・マシナリー
産業機器の販売が伸長し、増収となりました。

・ニッセイ
価格対応の効果も含め減速機・歯車ともに販売が堅調に推移し、増収となりました。

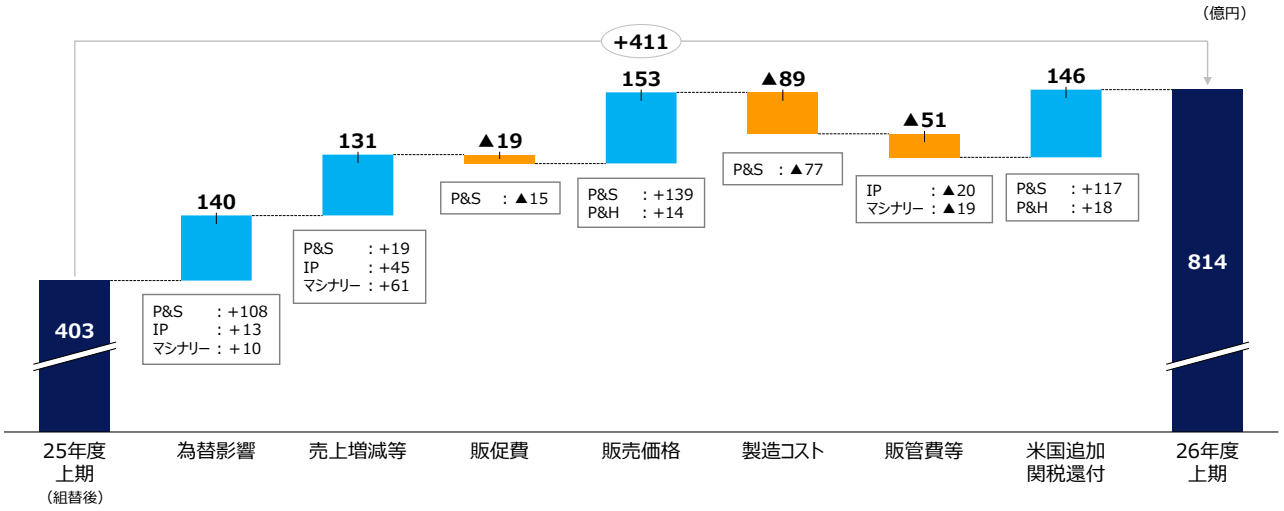
・P&H（パーソナル＆ホーム）
各地域で中級機を中心に販売が堅調に推移し、増収となりました。

・その他
主にカラオケ店舗事業等を運営するスタンダードの売上がなくなったことにより、減収となりました。

これらに、為替のプラス影響 399 億円が加わり、
全社では 785 億円増となる　**5,022**億円　となりました。

2026年度上期　事業セグメント利益の増減要因

部材価格高騰などの影響を受けたものの、価格対応の効果や米国追加関税の還付、
マシナリー事業の産業機器における増収効果に、為替のプラス影響なども加わり、大幅な増益となる



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメント利益の増減要因です。主な要素についてコメントします。

・為替影響
主にP&S事業において、為替のプラス影響がありました。

・売上増減等
マシナリー事業の産業機器の販売増や、IP事業におけるMUTOHの連結効果およびドミノの販売増に加え、P&S事業の消耗品の販売増などにより、増加しました。

・販売価格
主にP&S事業において、本体・消耗品ともに価格対応の効果がありました。

・製造コスト
主にP&S事業において、部材コストが増加しました。

・販管費等
MUTOHを連結子会社化したIP事業や、マシナリー事業を中心に、増加しました。

・米国追加関税還付
P&S事業をはじめとする各事業において、米国追加関税が還付されました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 411 億円増の **814**億円となりました。

2026年度　通期業績予想

25年度第3四半期より、N&C（ネットワーク＆コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、親会社の所有者に帰属する当期利益は継続事業と非継続事業を合算した金額です。

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2025年度第3四半期より、N&C（ネットワーク＆コンテンツ）事業を非継続事業に分類しています。
これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた金額、
親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業と非継続事業を合算した金額です。

2026年度通期　連結業績予想

主に、第2四半期の好調な業績の反映や、マシナリー事業の産業機器における下期の見通し引き上げに加え、前回予想で織り込んでいたリスクを見直し、売上収益・各段階利益ともに上方修正

（億円）

	26年度 前回予想	**26年度 今回予想**	増減 （）は為替影響除く増減	増減率 （）は為替影響除く増減率	25年度 実績	増減 （）は為替影響除く増減	増減率 （）は為替影響除く増減率
売上収益	9,800	**10,000**	200 (129)	2.0% (1.3%)	8,935	1,065 (711)	11.9% (8.0%)
事業セグメント利益	900	**1,050**	150 (133)	16.7% (14.8%)	836	214 (75)	25.6% (9.0%)
事業セグメント利益率	9.2%	**10.5%**			9.4%		
その他の収益・費用	0	**0**	0	-	▲58	58	-
営業利益	900	**1,050**	150	16.7%	779	271	34.8%
営業利益率	9.2%	**10.5%**			8.7%		
税引前利益	945	**1,100**	155	16.4%	820	280	34.2%
継続事業からの当期利益	692	**797**	105	15.2%	626	171	27.3%
非継続事業からの当期利益	83	**83**	0	0.0%	50	33	64.6%
親会社の所有者に帰属する **当期利益**	775	**880**	105	13.5%	676	203	30.1%
USD	157.26	**157.88**	0.62	-	150.97	6.91	-
EUR	182.09	**182.24**	0.15	-	174.54	7.70	-

● 予想部分の為替レート：１USD＝155円、１EUR＝180円

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　通期の業績予想についてです。

今回、売上収益・各段階利益ともに上方修正します。
主に、第2四半期の好調な業績を反映するとともに、
マシナリー事業の産業機器における下期の見通しを引き上げました。
あわせて、前回予想で織り込んでいたリスクの軽減も反映しています。

（前回予想との比較）
売上収益は、　200億円増の　**1兆**円
事業セグメント利益は、　150億円増の　**1,050**億円
営業利益は、　150億円増の　**1,050**億円
親会社当期利益は、　105億円増の　**880**億円　に修正しました。

なお、業績予想の前提となる予想部分の為替レートは、
1USD＝155円、１EUR＝180円と、前回予想から変更ありません。

2026年度通期　業績予想の前提

為替前提や、部材価格高騰、中東情勢、米国関税政策の影響については、前回予想から変更なし。
主に、第2四半期の上振れ分の反映やリスクの見直しに伴い、利益は150億円上方修正

カテゴリ	予想の前提　⬆前回予想からプラス　⬇前回予想からマイナス　➡前回予想からフラット	利益影響 対オリジナル計画* 前回予想	利益影響 対オリジナル計画* 今回予想
為替前提	**1USD＝155円、1EUR＝180円**（前回予想から変更なし）	-	-
部材価格高騰・中東情勢の影響	➡メモリや樹脂を中心とした部材価格の高騰、物流コストの増加は前回予想から変更なし ➡P&S事業における生産制約は引き続き顕在化せず、中東地域での販売減少も限定的（前回予想から変更なし）	▲290億円	**▲290億円**
対応策・上振れ分など	⬆**第2四半期の上振れ分**、および**下期の見通し変更分を反映** ⬇P&S事業の下期の販売強化に向け、**販促費を積み増し** ➡価格対応の効果は前回予想から変更なし	＋160億円	**＋280億円**
米国関税政策の影響	➡関税還付額および関税率の変化に伴う影響は前回予想から変更なし	＋190億円	**＋190億円**
全体リスクほか	⬆**産業機器における生産制約リスク**は、対応策の実施により**解消** ⬆**部材価格のさらなる高騰**のリスクは**軽減** ⬇**来期の収益向上に向けた追加費用**や**為替リスクなど**を**新たに織り込む**	▲70億円	**▲40億円**
営業利益予想		900億円	**1,050億円**

*「オリジナル計画」は、中東情勢や部材価格高騰、米国関税政策などの不確実要素を除いた26年3月時点の社内計画

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　通期業績予想の前提です。

・為替
予想期間の為替レートは、1USD＝155円、1 EUR＝180円と、前回予想から変更ありません。

・部材価格高騰・中東情勢の影響
メモリや樹脂を中心とした部材価格の高騰および物流コストの増加については、前回予想から変更ありません。
また、期初想定していたP&S事業における生産制約は前回予想同様に顕在化しない見通しです。
中東地域での販売減少についても、前回予想から変更なく限定的となる見通しです。

・対応策・上振れ分など
第2四半期の上振れ分、および産業機器の下期予想の引き上げなどの見通し変更分を反映しました。
一方で、P&S事業の下期の販売強化に向け、販促費の積み増しも織り込んでいます。
価格対応の効果については、前回予想から変更はありません。

・米国関税政策の影響
関税還付額および関税率の変化に伴う影響は、前回予想から変更はありません。

・全体リスク
前回予想で織り込んでいた産業機器における生産制約リスクは、対応策の実施により解消し、
部材価格のさらなる高騰のリスクは軽減を見込んでいます。
一方で、来期の収益向上に向けた追加費用や為替リスクなどを、全体リスクとして新たに織り込みました。

これらを受け、営業利益については前回予想の900億円から1,050億円に上方修正します。

2026年度通期　事業セグメント別予想

（億円）

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	前回予想	**今回予想**	増減	前回予想	**今回予想**	増減	前回予想	**今回予想**	増減
P&S （プリンティング＆ソリューションズ）	6,069	6,168	99	730	800	70	730	805	75
IP （インダストリアル・プリンティング）	1,683	1,675	▲9	45	58	13	45	47	2
マシナリー	1,010	1,110	100	110	129	19	110	129	19
ニッセイ	242	247	4	15	20	5	15	21	6
P&H （パーソナル＆ホーム）	648	656	8	71	83	11	71	83	12
その他	148	145	▲3	▲72	▲40	31	▲72	▲36	35
合計	**9,800**	**10,000**	**200**	**900**	**1,050**	**150**	**900**	**1,050**	**150**

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

・全体リスク：
-部材価格のさらなる高騰
-産業機器の生産制約リスク

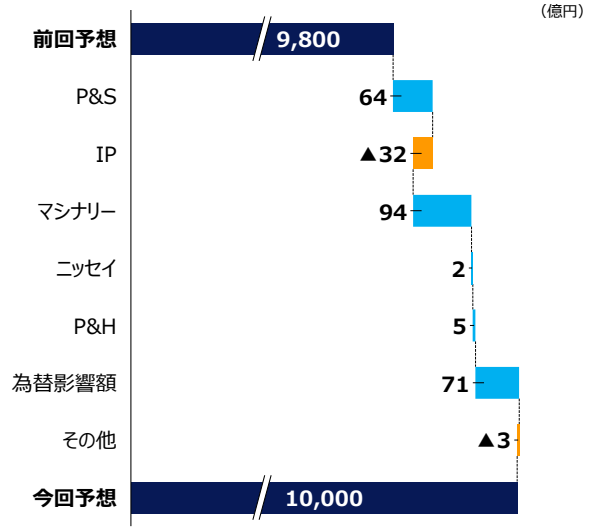
・全体リスク：
-来期の収益向上に向けた追加費用
-為替リスク
-部材価格のさらなる高騰

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

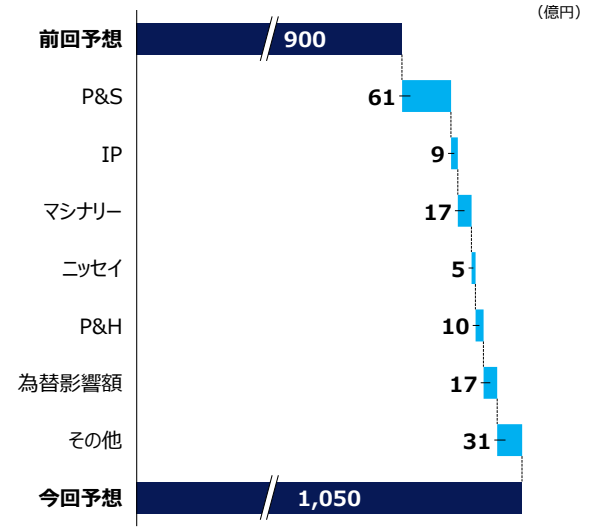
事業セグメントごとの業績予想の一覧です。

2026年度通期　売上収益/事業セグメント利益の増減

売上収益の増減



事業セグメント利益の増減



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

通期予想の前回予想からの増減です。
主な修正内容は、以下の通りです。

・P&S（プリンティング＆ソリューションズ）
売上・利益ともに、主に第2四半期における上振れ分を反映し、上方修正。

・IP（インダストリアル・プリンティング）
売上については、主に下期の産業用プリンターの見通しを引き下げ、下方修正。
利益については、主に第2四半期の上振れ分を反映し、上方修正。

・マシナリー
主に、産業機器の下期の見通しを引き上げ、売上・利益ともに上方修正。

・その他
前回予想に織り込んでいた全体リスクを見直し。

これらに、為替のプラス影響を織り込み、
売上収益、事業セグメント利益の通期の見通しを引き上げます。

財務の状況/設備投資・償却費・研究開発費

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

財務の状況

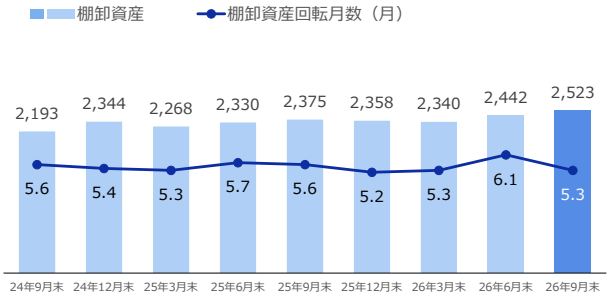
財政状態計算書　主要項目

（億円）

	26年3月末	26年9月末	増減
流動資産	6,474	**6,776**	302
現預金	1,977	**2,381**	404
棚卸資産	2,340	**2,523**	183
非流動資産	3,714	**3,717**	3
負債合計	2,515	**2,446**	▲68
有利子負債	10	**7**	▲3
株主資本	7,633	**8,046**	413
総資産	10,188	**10,493**	304

	26年3月末	26年9月末	増減
ネット・キャッシュ	1,967	**2,374**	407
株主資本比率	74.9%	**76.7%**	1.8%
ROE	9.3%	**-**	-

棚卸資産推移



※棚卸資産回転月数＝棚卸資産÷（１ヶ月平均売上原価）

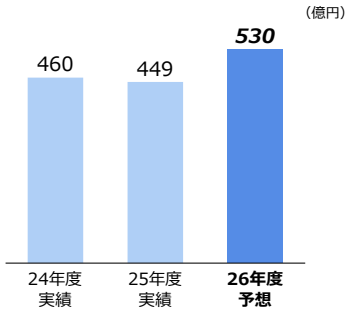
© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

為替影響や利益の増加により、資産が増加しています。

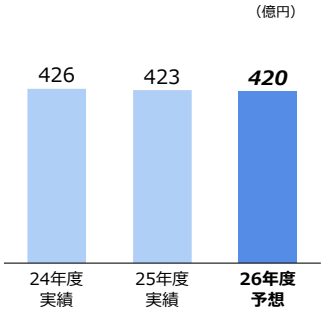
棚卸資産についても、2026年6月末と比較し増加しました。
棚卸資産回転月数については、
米国追加関税の還付の影響で水準が高くなっていた2026年6月末と比較し、減少しました。

設備投資・減価償却費/研究開発費

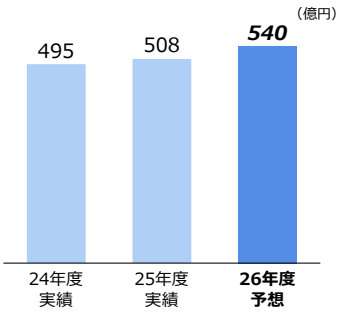
設備投資



減価償却費



研究開発費



設備投資内訳 (億円)

	24年度 実績	25年度 実績	26年度 予想
産業用領域	83	81	145
民生用領域他	376	368	385
計	460	449	530

研究開発費内訳 (億円)

	24年度 実績	25年度 実績	26年度 予想
産業用領域	148	179	183
民生用領域他	347	330	357
計	495	508	540

*産業用領域は、IP事業（24年度はドミノ事業）、マシナリー事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

24・25年度実績は、設備投資、減価償却費、研究開発費は非継続事業を含めたものです。26年度については、非継続事業を除いております。

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度の設備投資、減価償却費、研究開発費について、前回公表時からの変更はありません。

※非継続事業の扱いについて
2024・2025年度実績の、設備投資、減価償却費、研究開発費は非継続事業を含めたものです。
2026年度予想は、非継続事業は含まれません。

株主還元

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

株主還元｜配当

株主還元方針に基づき配当水準を引き上げ、中間期末および期末配当をそれぞれ60円とし、1株当たり年間配当は120円を予定（前年比20円増配）

「CS B2027」株主還元方針

基本方針　**安定的かつ継続的な株主還元の実施**

配当

- 1株あたり年間**100円**の配当を下限
- **配当性向40%**を目安とする

自己株式取得

- CS B2027の期間に、**合計600億円(3ヵ年合計)**の自己株式を取得予定

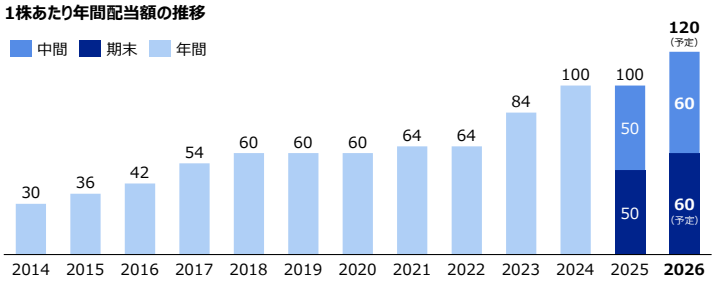
追加還元

- **業績等の状況に応じて追加還元を検討**
  （配当水準の引き上げや機動的な自己株式の追加取得）

配当

- 中間期末配当：　1株当たり　**60**円　（前年比10円増配）
- 期末配当：　1株当たり　**60**円　（前年比10円増配）　（予定）
- 年間配当：　1株当たり **120**円　（前年比20円増配）　（予定）

1株あたり年間配当額の推移



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

株主還元についてです。

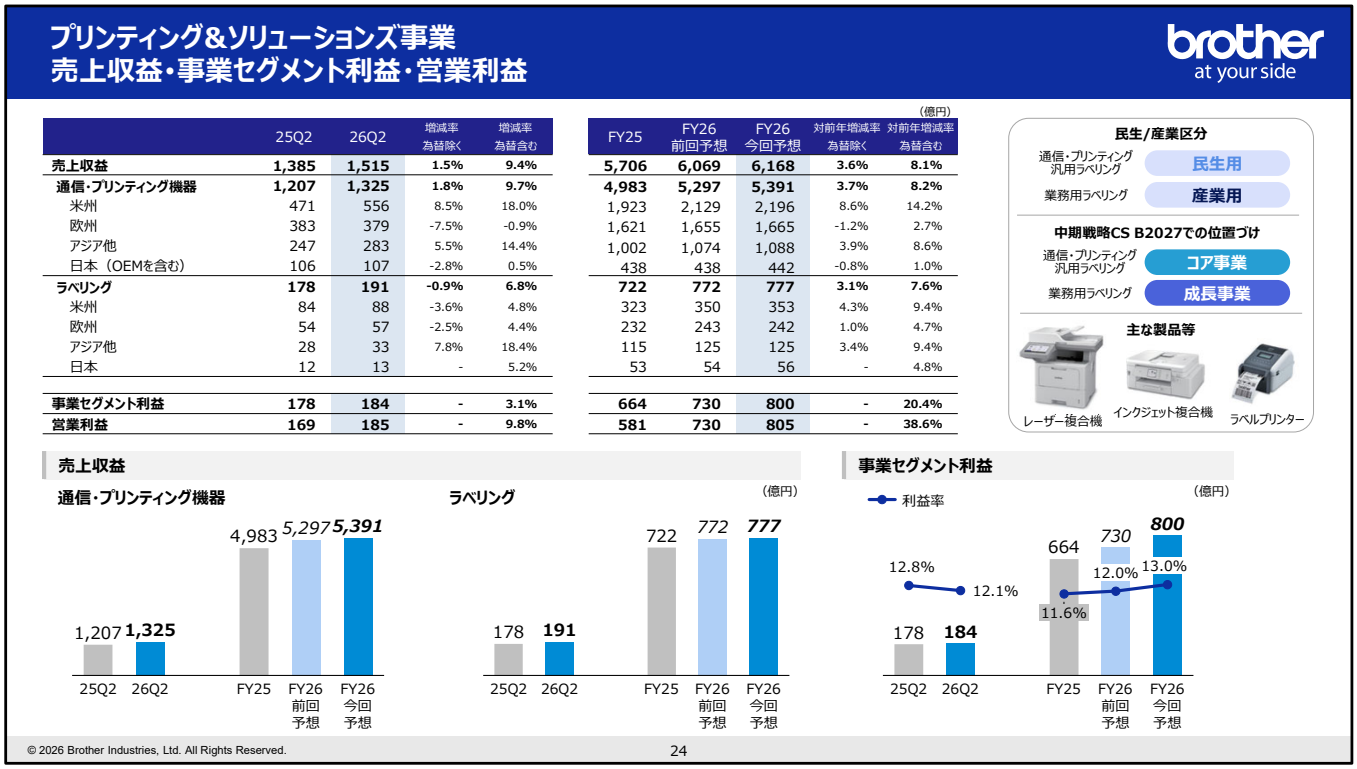
中期戦略「CS B2027」においては、成長投資を行う一方で、
１株当たり年間100円の配当を下限とし、配当性向40%を目安として還元すること、
また、資本効率の向上及び機動的な資本政策を遂行するため、
「CS B2027」の期間中に合計600億円の自己株式の取得を行う予定です。
加えて、業績等の状況に応じて追加的な株主還元を検討することとしています。

この方針に基づき、
2026年度の中間期末および期末配当をそれぞれ前年比10円増配となる **60** 円（前回予想50円）とし、
1株当たり年間配当は前年比20円増配となる **120** 円（前回予想100円）とする予定です。

なお、自己株式については、2025年5月12日～2026年４月30日の期間で、総額約200億円を取得が完了し、
加えて、2026年５月11日～2027年４月30日の期間で200億円を上限として取得を実施中です。

セグメント業績概要

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.



2026年度第2四半期の実績についてご説明します。

P&S事業の売上収益は 1,515 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 1.5 %、為替影響を含む増減率はプラス 9.4 % となりました。

・通信・プリンティング機器
売上収益は 1,325 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 1.8 %、為替影響を含む増減率はプラス 9.7 % となりました。
主に米州において本体・消耗品の販売が好調に推移したことに、為替のプラス影響も加わり、増収となりました。
詳細は次のページでご説明します。

・ラベリング
売上収益は 191 億円。
現地通貨ベースの増減率は マイナス 0.9%、為替影響を含む増減率は プラス 6.8% となりました。
汎用ラベリングの販売が減少したものの、業務用ラベリングが本体・消耗品ともに堅調に推移し、
為替のプラス影響もあり、増収となりました。

事業セグメント利益は、 184 億円。
部材コストが増加したものの、価格対応の効果や為替のプラス影響などにより、増益となりました。

プリンティング&ソリューションズ事業
主要製品別売上伸び率・構成比

		24Q1	24Q2	24Q3	24Q4	25Q1	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	24通期	25通期
売上金額伸び率（前年同期比）															
レーザー															
円ベース	本体	-5%	2%	-1%	1%	1%	5%	6%	8%	19%	12%	-	-	-1%	5%
	消耗品	11%	14%	14%	-2%	-3%	3%	0%	18%	29%	10%	-	-	9%	4%
現地通貨ベース	**本体**	**-12%**	**2%**	**0%**	**1%**	**9%**	**5%**	**1%**	**1%**	**6%**	**3%**	**-**	**-**	**-2%**	**4%**
	消耗品	**0%**	**12%**	**12%**	**-2%**	**3%**	**2%**	**-4%**	**8%**	**16%**	**2%**	**-**	**-**	**5%**	**2%**
インクジェット															
円ベース	本体	18%	12%	17%	14%	4%	13%	13%	3%	4%	11%	-	-	15%	8%
	消耗品	-1%	6%	11%	-2%	-4%	9%	5%	21%	25%	4%	-	-	3%	8%
現地通貨ベース	**本体**	**10%**	**14%**	**18%**	**16%**	**12%**	**13%**	**9%**	**-3%***	**-6%**	**4%**	**-**	**-**	**15%**	**8%**
	消耗品	**-9%**	**4%**	**10%**	**-2%**	**1%**	**8%**	**1%**	**12%**	**14%**	**-2%**	**-**	**-**	**1%**	**5%**
消耗品比率		**55%**	**55%**	**56%**	**55%**	**54%**	**54%**	**55%**	**58%**	**58%**	**54%**	**-**	**-**	**55%**	**55%**
販売台数伸び率（前年同期比）															
レーザー		**-13%**	**-2%**	**-6%**	**1%**	**5%**	**5%**	**1%**	**-2%**	**5%**	**0%**	**-**	**-**	**-5%**	**2%**
インクジェット		**13%**	**14%**	**17%**	**11%**	**9%**	**10%**	**6%**	**8%**	**-4%**	**4%**	**-**	**-**	**14%**	**8%**

＊25Q4のインクジェット本体売上（現地通貨ベース）に、25Q2および25Q3における海外販売会社のIFRS売上控除額修正を反映

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

第2四半期における主要製品の売上伸び率についてです。（現地通貨ベース/前年同期比）

レーザーの売上伸び率は、本体は プラス 3%、消耗品は プラス 2% となりました。
インクジェットの売上伸び率は、本体は プラス 4%、消耗品は マイナス 2% となりました。

・製品本体
レーザー・インクジェットともに、欧州・中国において販売が減少したものの、
主に米国において価格対応の効果を含め販売が好調に推移し、増収となりました。

・消耗品
レーザー・インクジェットともに欧州における値上げ前の駆け込み需要の反動減が見られた一方で、
価格対応の効果がありました。

インダストリアル・プリンティング事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

(億円)

	25Q2	26Q2	増減率 為替除く	増減率 為替含む	FY25	FY26 前回予想	FY26 今回予想	対前年増減率 為替除く	対前年増減率 為替含む
売上収益	**343**	**435**	**19.1%**	**26.8%**	**1,393**	**1,683**	**1,675**	**17.8%**	**20.2%**
ドミノ	**306**	**357**	**9.3%**	**16.9%**	**1,253**	**1,316**	**1,343**	**5.0%**	**7.1%**
米州	86	97	8.7%	13.2%	341	353	356	5.5%	4.7%
欧州	125	157	10.7%	26.0%	528	572	596	6.1%	13.1%
アジア他	81	90	10.2%	10.6%	334	337	339	3.7%	1.5%
日本	14	13	-	-5.2%	51	54	51	-	-0.7%
産業用プリンター	**37**	**77**	**99.5%**	**106.9%**	**140**	**367**	**332**	**132.8%**	**137.6%**
米州	18	25	33.2%	41.0%	65	126	112	67.3%	72.1%
欧州	9	23	154.3%	160.4%	33	108	97	192.4%	197.1%
アジア他	7	8	8.7%	20.8%	26	35	33	16.6%	24.5%
日本	4	21	-	433.8%	16	98	90	-	476.6%
事業セグメント利益	**4**	**23**	**-**	**549.1%**	**29**	**45**	**58**	**-**	**99.3%**
営業利益	**-1**	**29**	**-**	**-**	**-17**	**45**	**47**	**-**	**-**

民生/産業区分

産業用

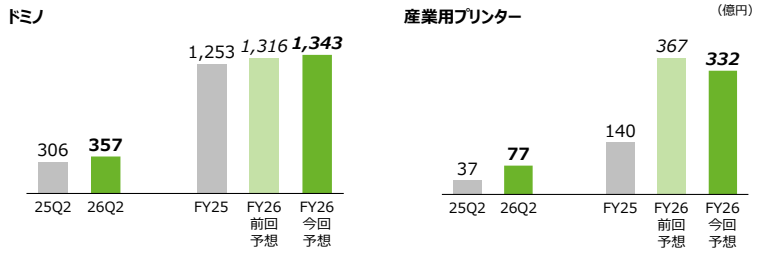
中期戦略CS B2027での位置づけ

成長事業

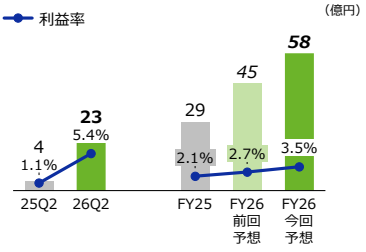
主な製品等



売上収益



事業セグメント利益



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

26

IP事業の第2四半期の売上収益は **435** 億円。
現地通貨ベースの増減率は、プラス 19.1%、為替影響を含む増減率は プラス 26.8% となりました。

・ドミノ
売上収益は **357** 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 9.3%、為替影響を含む増減率は プラス 16.9% となりました。
C&M・DPともに本体・消耗品の販売が堅調に推移したことに、
為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

・産業用プリンター
売上収益は **77** 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 99.5%、為替影響を含む増減率は プラス 106.9% となりました。
主にMUTOHが加わったことにより、大幅な増収となりました。

事業セグメント利益は、 **23** 億円。
ドミノの増収効果や米国追加関税の還付に加え、為替のプラス影響もあり、大幅な増益となりました。

マシナリー事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

(億円)

	25Q2	26Q2	増減率 為替除く	増減率 為替含む	FY25	FY26 前回予想	FY26 今回予想	対前年増減率 為替除く	対前年増減率 為替含む
売上収益	**203**	**275**	**27.9%**	**35.2%**	**830**	**1,010**	**1,110**	**29.9%**	**33.8%**
産業機器	**157**	**229**	**38.6%**	**45.5%**	**643**	**800**	**910**	**38.0%**	**41.5%**
米州	7	15	-	117.9%	39	-	68	-	71.5%
欧州	8	12	-	46.8%	31	-	51	-	63.0%
アジア他	118	172	-	45.3%	466	-	660	-	41.6%
日本	25	31	-	26.1%	106	-	131	-	23.7%
工業用ミシン	**46**	**46**	**-8.9%**	**-0.3%**	**187**	**210**	**200**	**1.8%**	**7.1%**
米州	4	4	-2.0%	6.3%	14	-	13	-17.7%	-12.8%
欧州	4	9	88.9%	102.4%	24	-	39	56.2%	62.0%
アジア他	37	32	-21.8%	-13.5%	144	-	146	-4.4%	1.0%
日本	1	1	-	33.5%	4	-	3	-	-30.4%
事業セグメント利益	**18**	**36**	**-**	**106.8%**	**67**	**110**	**129**	**-**	**92.9%**
営業利益	**17**	**36**	**-**	**112.7%**	**67**	**110**	**129**	**-**	**94.1%**

民生/産業区分

産業用

中期戦略CS B2027での位置づけ

産業機器 成長事業

工業用ミシン 収益性改革事業

主な製品等

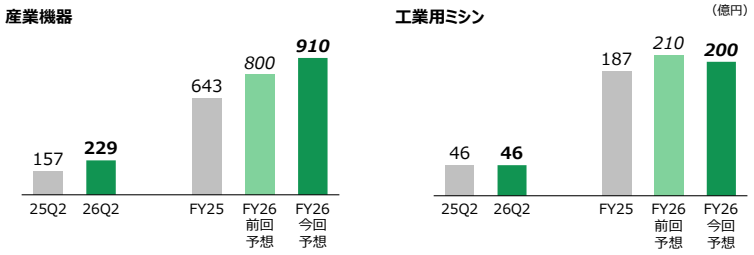


工作機械

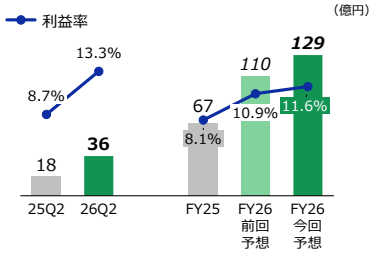


工業用ミシン

売上収益



事業セグメント利益



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

27

マシナリー事業の第2四半期の売上収益は **275** 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 27.9%、為替影響を含む増減率は プラス 35.2% となりました。

・産業機器

売上収益は、**229** 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 38.6%、為替影響を含む増減率は プラス 45.5% となりました。
中国・アジアを中心に、半導体やAIデータセンター関連の部品加工を含む一般機械市場向けの
設備投資需要が拡大し、大幅な増収となりました。

・工業用ミシン

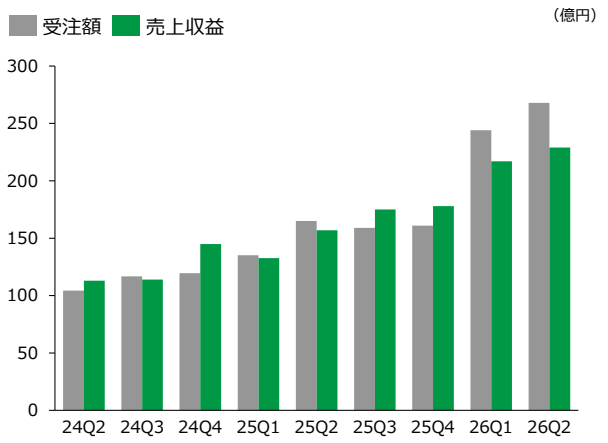
売上収益は、**46** 億円。
現地通貨ベースの増減率は マイナス 8.9%、為替影響を含む増減率は マイナス0.3% となりました。
独 Konrad Busche社が加わった効果や為替のプラス影響があったものの、
中東情勢の影響を受けアジアにおけるアパレル向け設備投資が低調に推移し、前年同期並みとなりました。

事業セグメント利益は、 **36**億円。
産業機器の増収効果により、大幅な増益となりました。

マシナリー事業（産業機器）
受注額の推移

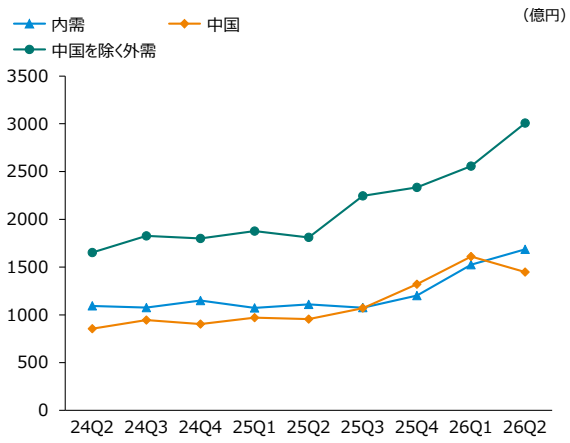
brother
at your side

受注額・売上収益の推移



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

（参考）日工会受注統計



※出所：（一社）日本工作機械工業会　工作機械主要統計より

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

産業機器の四半期ごとの売上収益と受注額です。
受注額は、国内受注と海外受注を合わせた製品本体受注の合計額です。

中国・アジアを中心に、半導体やAIデータセンター関連の部品加工を含む一般機械市場向けの
設備投資需要が拡大し、受注額、売上収益ともに増加しました。

ニッセイ事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

(億円)

	25Q2	26Q2	増減率 為替除く	増減率 為替含む	FY25	FY26 前回予想	FY26 今回予想	対前年増減率 為替除く	対前年増減率 為替含む
売上収益	**55**	**59**	**3.7%**	**6.8%**	**214**	**242**	**247**	**12.9%**	**15.0%**
米州	12	10	-19.0%	-12.3%	38	43	44	8.2%	13.5%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	7	9	21.8%	34.9%	27	32	35	17.3%	26.3%
日本	36	39	-	7.8%	149	167	168	-	13.4%
事業セグメント利益	**4**	**6**	**-**	**28.9%**	**10**	**15**	**20**	**-**	**111.8%**
営業利益	**4**	**6**	**-**	**38.2%**	**10**	**15**	**21**	**-**	**108.4%**

民生/産業区分

産業用

中期戦略CS B2027での位置づけ

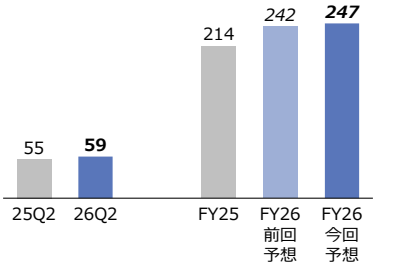
収益性追求事業

主な製品等

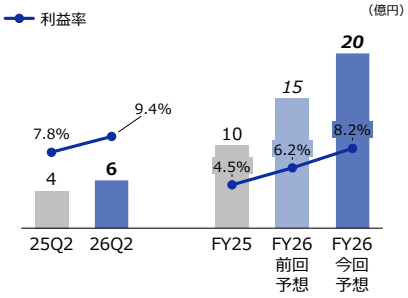


ギアモータ　高剛性減速機　歯車

売上収益



事業セグメント利益



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

29

ニッセイ事業の第2四半期の売上収益は **59** 億円。
現地通貨ベースの増減率は プラス 3.7%、為替影響を含む増減率は プラス 6.8% となりました。
価格対応の効果も含め、減速機・歯車ともに販売が堅調に推移したことに
為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

事業セグメント利益は、 **6** 億円。
価格対応を含めた増収効果などにより、増益となりました。

パーソナル&ホーム事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother at your side

（億円）

	25Q2	26Q2	増減率 為替除く	増減率 為替含む	FY25	FY26 前回予想	FY26 今回予想	対前年増減率 為替除く	対前年増減率 為替含む
売上収益	**140**	**169**	**12.0%**	**21.0%**	**610**	**648**	**656**	**3.2%**	**7.6%**
米州	83	100	11.4%	21.3%	351	371	374	1.5%	6.3%
欧州	35	39	4.5%	11.7%	155	168	163	1.6%	5.4%
アジア他	15	20	22.9%	35.6%	69	71	77	5.7%	11.8%
日本	8	10	-	30.3%	34	38	42	-	21.7%
事業セグメント利益	**14**	**20**	**-**	**43.9%**	**66**	**71**	**83**	**-**	**25.3%**
営業利益	**13**	**20**	**-**	**53.7%**	**60**	**71**	**83**	**-**	**39.1%**

民生/産業区分

民生用

中期戦略CS B2027での位置づけ

収益性追求事業

主な製品等

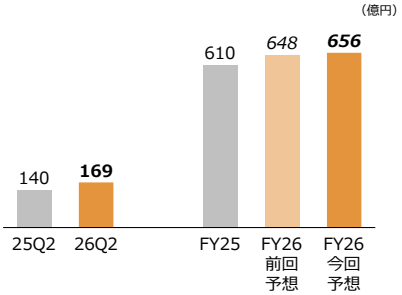


©Disney 家庭用ミシン

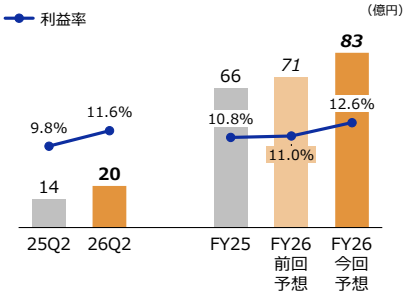


カッティングマシン

売上収益



事業セグメント利益



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

P&H事業の第2四半期の売上収益は **169** 億円、
現地通貨ベースの増減率は プラス 12.0%、為替影響を含む増減率は プラス 21.0% となりました。
普及機・中級機の販売が増加したことに、価格対応の効果や為替のプラス影響も加わり、大幅な増収となりました。

事業セグメント利益は、**20** 億円。
価格対応を含めた増収効果や為替のプラス影響により、大幅な増益となりました。

参考資料

© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.



2025年度第3四半期よりN&C事業は非継続事業に分類しております。
これにより、売上収益から税引前利益までは非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、
当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業の合算をして開示します。
なお、2025年度は期初に遡及して組み替えております。

また、2026年度よりMUTOHの業績をIP事業の産業用プリンターに組み込んでおります。

事業区分は、
「P&S事業」、「IP事業」、「マシナリー事業」、「ニッセイ事業」、「P&H事業」、「その他事業」となります。

【参考】ブラザーグループの事業領域

brother at your side

ビジネスの領域

	事業名	サブセグメント
産業用領域	マシナリー	産業機器
		工業用ミシン
	ニッセイ	
	IP（インダストリアル・プリンティング）	ドミノ
		産業用プリンター
	P&S（プリンティング＆ソリューションズ）	業務用ラベリング
		汎用ラベリング
		通信・プリンティング
民生用領域	P&H（パーソナル＆ホーム）	
	新規事業	

製品・サービス群

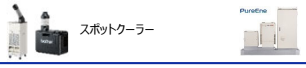
産業用領域



民生用領域



新規事業



© 2026 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.


brother
at your side